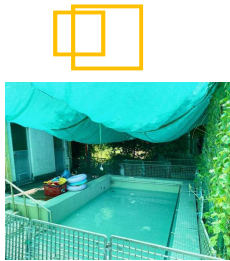


乳幼児期は様々な能力を 獲得する時期

早くからお子さんに合った対応を行うと
生活の中での「困った」を減らすことに
つながります。

子どもは日常生活の中で
家族をはじめとした周りの人との
関わりや遊びを通して
発達していきます。
周囲がその子に合った関わり方をすることで
発達を促し、自分に自信を持ったり
自分を大切にしたりする気持ちが
培われていきます。

センターの様子



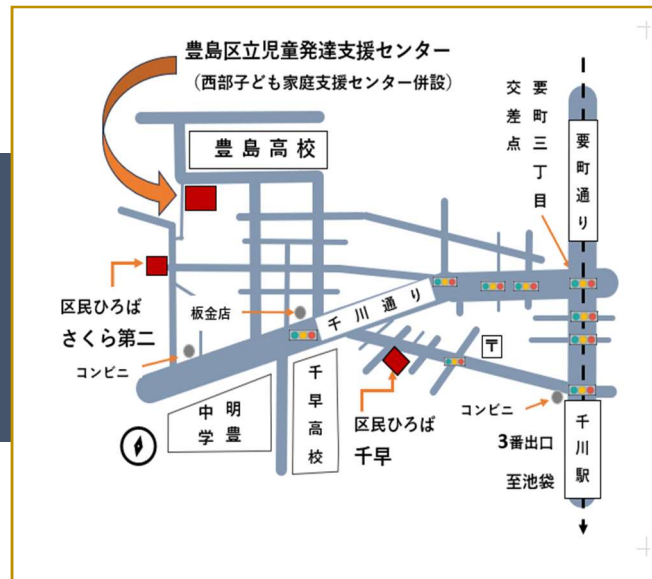
アクセス

- 電車 東京メトロ有楽町線・副都心線「千川駅」下車
3番出口徒歩12分
- 路線バス 「池07」系統「千早高校」徒歩5分
- 豊島区内を走るフットワークバスが運行しています。
予約制ですのでお問い合わせください。

お問い合わせ

- 豊島区立児童発達支援センター
(西部子ども家庭支援センター併設)
豊島区千早4-6-14
03-6777-0370 月～金 9:00-17:00
※繋がりにくい時にはこちらへ 03-5966-3131
(西部子ども家庭支援センター)
祝日・年末年始(12/29-1/3) 除く
- E-mail: A0030120@city.toshima.lg.jp

豊島区立 児童発達支援 センターの ご案内



豊島区立児童発達支援センター
(西部子ども家庭支援センター併設)



事業案内

就学前のお子さんの成長や発達について一緒に考えます

■ 児童発達支援

・相談

電話やメール、親子あそび広場にてお子さんの発達や育児に対する不安や悩みを聞きながら安心して子育てができるようにお手伝いします。

・個別指導 (ST・OT・PT)

成長の段階をつかみ、苦手なこと得意なことを知って、その子に合った方法で教えたり伝えたりする工夫を一緒に考えます。

・グループ指導

少人数のグループに分かれて、親子又は職員と一緒に関わり合いながらお子さんの興味を広げ、生活習慣やコミュニケーションを育みます。就学前フォローグループなどもあります。

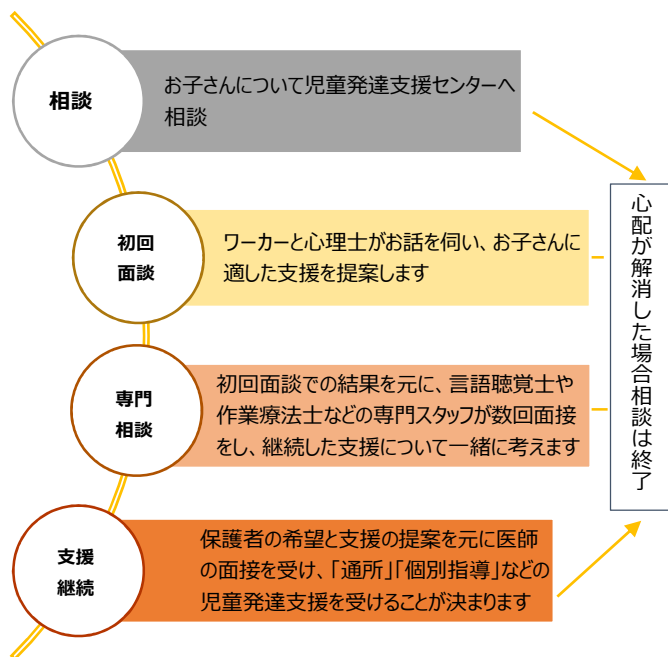
■ 障害児相談支援

■ 保育所等訪問支援

ご利用にあたってはお手続きが必要になります。詳しくはお問い合わせください。

相談の流れ

まずは電話やメールでお問い合わせください



継続して支援が必要な場合はセンターの医師が面接を行います。診療や診察ではないので診断はしていません。

スタッフ

専門スタッフがサポートします

■ 子ども家庭支援ワーカー

保育士や福祉職員などが発達全般に関する相談をお受けします。

■ 子ども家庭支援ワーカー (心理職)

公認心理師や発達専門の心理士がお話を伺いながら、発達全般に関する相談をお受けします。

■ 言語聴覚士 (ST)

ことばの遅れやコミュニケーション、理解などについての相談、構音、吃音などの指導を行います。

■ 作業療法士 (OT)

物を使う遊びや運動を通して、目と手の動きや感覚を育み、全身の滑らかな動作を促します。

■ 理学療法士 (PT)

歩く、走る、登る、蹴るなどの運動の基礎作りを援助します。

■ 音楽療法士

音楽を用いたコミュニケーションで、心身の健康、機能改善を図ります。(グループ指導利用の方対象)

■ その他

小児精神科医、小児科医、看護師、栄養士、家庭相談員など